

# 新たな力で地域の発展を！

～石狩市～

活動期間 平成28～令和元年

## 1 課題設定の背景

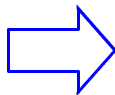
### 現状と課題

- 平成8年度の市農業振興計画による高岡100棟構想の推進と、平成13年道営事業によりかん水施設が整備され、5戸がミニトマト栽培へ経営転換し、生産性の向上と所得の安定に取り組んできた。
- ミニトマト経営で8戸（共選出荷6戸）が新規参入し、生産技術の安定が急務である。
- 粘性の強い土壌で排水不良と連作による土壌病害が発生。また、近年の高温でミニトマトの品質が低下している。

### ミニトマト生産の 問題点と具体的な対策

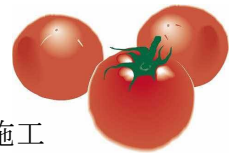
#### 問題点

- ・連作による根腐症状の発生
- ・高温による花落ち増加
- ・高温時生理障害による品質の低下
- ・8月出荷の単価低下
- ・灰色かび病による収量の減少



#### 具体的な対策

- 高品質安定多収生産技術の定着
  - ・物理性の改善
    - 明きよ、暗きよ、心土破碎の施工
  - ・高温対策→遮光資材等の活用
  - ・収穫時期の変更→主枝切り換え・摘房処理
  - ・2本仕立ての株間改善（40cm→60cm）
  - ・病害虫の早期防除、肥培管理の徹底
- 新規参入者の計画的な作業管理技術の習得
  - ・適期定植と定植時の地温の確保
  - ・生育に応じた栽培管理技術の習得
  - ・病害虫の早期発見と適期防除



## 2 活動内容

### 〈栽培研修会〉



1月に行われる研修会において、低収要因と対策を全員で協議した。

### 〈現地検討会〉



3～9月までの計6回の検討会で、生育状況の確認と栽培管理や防除を綿密に打ち合わせた。

### 〈個別巡回〉



特に5年以内の就農者4戸に対しては、栽培管理技術の助言と作業の確認を行った。



### 〈ミニトマト栽培マニュアル更新 による生産技術の再構築〉

新規参入者用栽培マニュアルを作成（更新）した。

その際、指導農業士や組織役員との協議と全体会議を通じて、栽培技術の再構築がなされた。



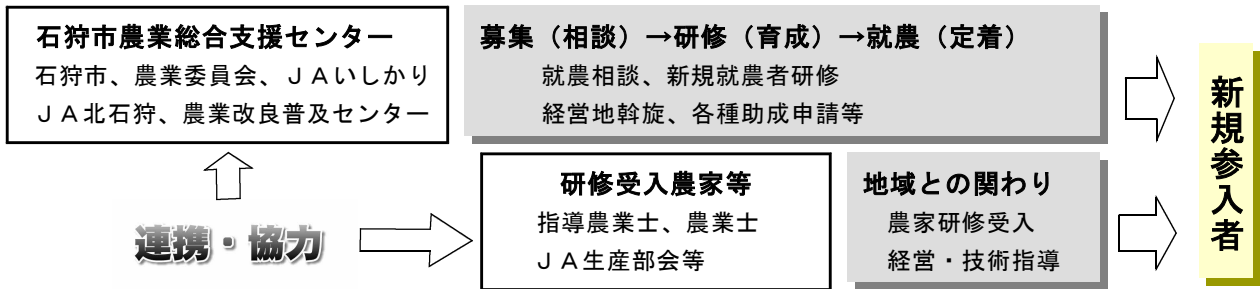


図1 新規参入者受入に関する地域連携図

### 3 活動の成果

- (1) 有機物（米ぬか）の投入等により、褐色根腐病の発生を防止した。2本仕立ての株間を広くし換気を良くすることで、収量を落とさず病虫害発生を抑制した。
  - (2) 遮光資材等の活用で、ハウス内の最高温度が3～5℃低下した。そのことで障害果が減少し、品質が向上した。
  - (3) 主枝切り換え・摘房処理により草勢の低下を抑制することで秋期収穫量が向上した。併せて、単価の高い秋期収穫が増えることにより、収益の向上が図られた。
  - (4) 新規参入した8戸は、生産技術を駆使し、安定経営を継続している。また、参入5年以内の対象者へ頻度を高めた巡回により、生育に応じた栽培管理が行われた。
- ◎これらの活動が、栽培面積・販売額・出荷数量・収量の向上に寄与している。

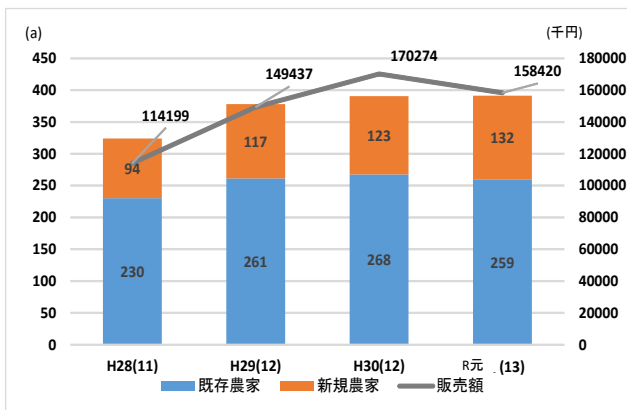


図2 ミニトマト栽培面積と販売額の推移

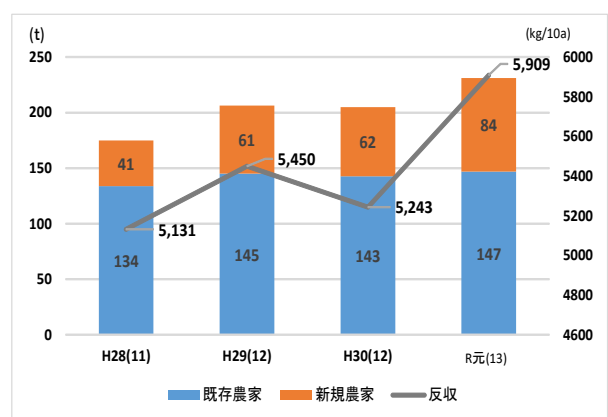


図3 ミニトマト出荷数量と10a当たり収量の推移

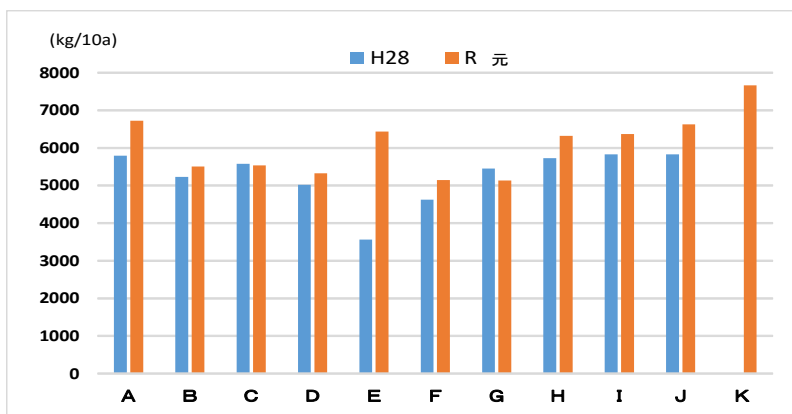


図4 個人別ミニトマト10a当たり収量の比較 (H28対R元)

### <農業者の声>

ひとつひとつ、生産技術が地域内に浸透し、10a当たりの出荷量が過去最高となった。

新規で参入した人たちの努力の賜でもある。

これからも、現地検討会等を通じて、全員の技術の底上げを図り、しっかり所得を確保したい。



### 4 今後の対応

ミニトマトの高品質安定多収生産による経営の安定

- (1) ミニトマト栽培マニュアルを活用した作業の効率化・コスト低減
- (2) 新規参入者の定着や就農希望研修生への支援